

令和6年能登半島地震 被災地支援活動報告

本市では、令和6年能登半島地震の発生を受け、「阿南市被災地支援対策本部」を設置し、被災地支援活動に、市職員を派遣しています。支援活動に従事した職員の活動をご紹介します。

危機管理課 荒谷達郎さん

避難所運営業務

派遣期間 1月28日～2月2日

発災から1カ月後に、輪島市の門前町にある諸岡公民館で避難所支援を行いました。諸岡公民館では、驚くことに、被災者たち自らが炊き出し、給水、物資管理を行

い、円滑な組織運営がなされていました。普段とは違った環境であっても我慢強く、前向きに復興に向けて歩んでいました。一番印象に残ったことは、旧耐震基準での木造家屋の倒壊の多さです。今一度、自宅の耐震について見直す重要性を感じました。また、揺れたらどう逃げるかと、平時から避難路の確認が大切です。



子ども支援課 木下千津子さん

保健師チーム第12班

派遣期間 2月10日～15日

輪島市へ保健師チームとして派遣されました。活動内容としては、在宅高齢者のお宅を訪問し、健康相談を行いました。

発災から1カ月以上経っていましたが、断水が続き、倒壊した家屋は手つかずのまま、道路は地割れや隆起をしていました。被災者からは、避難所で感染症にかかったことや栄養バランスの偏りの訴えがあり、平時から災害時を想定した備えの大切さを感じました。



生活福祉課 植田諭史さん

罹災証明書交付等窓口業務

派遣期間 3月18日～24日

輪島市門前総合支所で、罹災証明書等の交付業務に従事しました。輪島市では市内すべての建物の被害認定調査を行っており、調査が済んだ地区の対象者に対

し、順次、罹災証明書等を交付しています。事前の想定以上に、多くの建物が全壊や大規模半壊等の重い判定となっており、今回の地震による被害の大きさを痛感しました。今後も被災者に寄り添った継続的な支援が必要であることを改めて認識するとともに、被災地の一刻も早い復興を祈念しています。



まちかどほっとニュース



子ども第三の居場所 あすきら開設

4月15日、「子ども第三の居場所 あすきら」の協定書調印式・落成式を執り行いました。施設には学習スペースやキッチン、相談室などを備え、子どもたちに食事や学習支援、相談支援を提供します。



伊島で交流事業

4月26日に伊島中学校にて阿南光高校のあこうバンブークラブが出前授業を開催。教室には島民10人が参加し、倒れると自動で点灯する防災懐中電灯の「ぼてっとライト」を、高校生と一緒に制作しました。

表紙説明

5月10日に山口小学校の児童29人が、帆船「みらいへ」での体験航海(ふなどころ阿南まちづくり協議会企画)を行いました。船上では全員で力を合わせて帆を張りました。なお、翌日には一般公開が行われました。

阿南市のライン公式アカウント、フェイスブック、Instagramなどでも阿南市の最新情報をお届けしています。



阿南市公式ライン



フェイスブック



Instagram